



さらなる推進をめざし

下水道新技術研究発表会開く



3月12日に東京で、同19日に大阪で、第15回下水道新技術研究発表会を開きました。国土交通省都市・地域整備局下水道部の植松龍二町村下水道対策官が「下水道をめぐる最近の話題」、また（独）新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）環境技術開発部部長の岡部忠久部長が「NEDOの水分野における研究開発の展望」と題してそれぞれご講演いただきました。その後、本機構職員による研究成果報告が行われました。

技術委員会で8テーマを審議

平成21年度第3回技術委員会を3月2日に開きました。委員会では、部門別新技術実用化評価委員会に関する研究5課題、部門別共同研究委員会8議題について審議が行われました。また席上、新たに共同研究を始める「清瀬水再生センターにおける汚泥ガス化炉施設の性能評価に関する共同研究」など2技術について諮問を、また今年度に諮問が行われた2技術について答申を行いました。



下水道新技術セミナーを開催



第50回下水道新技術セミナーを2月19日に東京で、同26日に大阪で開催しました。テーマは「下水道BCP策定マニュアル（地震編）について」で、注目されるテーマだけに東京会場には130人以上が出席、最新知見に真剣に耳を傾けました。

建設技術審査証明書を交付

平成21年度第2回審査証明委員会を2月4日に開催し、平成21年度建設技術審査証明事業（下水道技術）に申請のあった民間開発技術37件に対して審議を行いました。3月8日にはこれらのうち審議が終了した新規18件をはじめ、取得後5年を経過した更新12件、変更5件の計35件に審査証明書が交付されました。



東京都流域下水道本部で現場研修会



第2回新技術現場研修会を12月3日に開催しました。研修に訪れたのは平成21年度の国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」を受賞した、下水汚泥と木質系バイオマスの混合焼却施設を有する東京都下水道局流域下水道本部・多摩川上流水再生センター。同設備は木質系バイオマスを下水汚泥焼却炉の補助燃料として活用するため、木質材（チップおよび剪定枝）を受け入れて貯留・搬送、下水汚泥と混合するものです。参加者は熱心に施設を見て回りました。